



長崎市立矢上小学校 学校だより 『笑顔が花咲く矢上小』

合い言葉「安全安心で楽しい学校」

もっと！よく学び よく遊べ」

令和7年6月25日

NO. 18

校長 白水 聡

家族・交流証言者講話

これまでは被爆体験講話という取組でしたが、被爆者の方々が少なくなっている昨今、そのご家族の方が体験を継承してお話しして下さることが増えてきています。6月23日、本校に山〇子さんが来られ、貴重な体験談をお話ししていただきました。山〇さんのお父様は、山〇〇さん。広島と長崎の両県で被爆された「二重被爆者」とのことです。お父様が生前語ってこられたことや戦争当時の様子について、紙芝居を織り交ぜながら、子供たちにもよくわかるようにお話ししていただきました。



その中で、「…神様が起こしたのではないんです。人間が戦争を起こしたのです。欲が強すぎるといのはやめたほうがいいと思います。…」と話されました。最近の紛争のニュースからも人間の愚かな言動について考えさせられます。

「みんないい子でしたね。よく聞いてくれてうれしかったです。」と帰られました。温かい笑顔でした。

紙芝居は娘さんやお孫さんと一緒に作られたそうです。まさに、ご家族の思いが込められた証言者講話でした。

ふれあいタイム

今年も「ふれあいタイム」が始まりました。異学年で構成する、たてわり班での交流会です。全部で27班あり、果物や野菜の名前がつけられています。

この日は初日ということで、まずは自己紹介をしていました。その仕方も先輩が手本を見せて、低学年に教えます。上級生にも下級生にも、双方によい経験だと感じました。

こうした活動は社会性を育てます。場に応じてしなやかに対応できる力が育てばと思います。



体力テスト



写真はソフトボール投げの様子です。先日、体力テスト（全8種目）が終わりました。今年も4、5、6年生が対象です。

こだわるポイントは自己の記録の伸びです。昨年と比べてどうだったのかを振り返ってほしいと思います。

うちの娘は幼稚園の遊びの中で体育、音楽、造形の楽しさを教えていただいたと感謝しています。そうした土台の上に、さらなる力が積み重なっていくのだと思います。力強くボールを投げた経験が多い子ほど、よい記録を出すことができるのです。

昨日の自分を超えていく子の頑張りを応援しましょう！